

課題図書一覧

小学5・6年生

01

イギリス代表🇬🇧 『不思議の国のアリス』



「退屈だ。何か面白いことはないかな」と思って歩いていると、手に時計を持ち人間の言葉で「急がなきゃ!」と喋っているウサギをみかけたら、君ならどうするかな? 主人公のアリスはウサギを追って、ふかいふかい穴に入ってしまう。穴の先は見たこともない世界。飲み食いすると体のサイズが変わってしまうキノコや水があったり、ハリネズミをボールにしてフラミンゴをバットにしたスポーツが行われていたり、などだらけ。トラブルに巻き込まれて死刑にされてしまいそうなアリスがどうこの世界から抜け出すのか・・・? 読んでそのなどを解いてみましょう!

02

韓国代表🇰🇷 『庭をでためんどり』



「学校いやだな～行きたくないな～」と思ったこと、何度もあるでしょう。柵に囲まれた建物、きゅうくつな教室、学校のルール、勉強。自由になりたい! と強く思いますよね。この本の主人公は、あるニワトリで、君たちと同じように「庭から出て自由になりたい!」とおもっています。そんなニワトリがある日偶然庭から出られることになり、別の世界に飛び出していきます。「自由になれた! 幸せだ!」と思ったのもつかのま・・・。大変な外の世界に出会い、「自由とはなにか」を全く違う見方で考えはじめます。みんなはどういう生き方が自由だと感じるかな?

03

ドイツ代表🇩🇪 『飛ぶ教室』



これはドイツの寄宿学校(生徒たちが一緒に家で暮らしながら勉強する学校)の、とあるクリスマス前の5日間のお話。寄宿学校の生徒の1人が、隣の学校の不良に誘拐されるところから物語が始まる。友達を取り返すために、不良たちに対決を申し込む寄宿学校のマルティンやジョニー。学校の規則をやぶって外出し、監禁されている友達を救い出すことができるのか? 5日間だけの話なのに、何年間もの長いストーリーが感じられる、不思議な本です!

04

タンザニア代表🇹🇿 『ゾウの王パパ・テンボ』



ゾウの脳は人間よりずっと大きいです。そしてそのゾウは、現実にアフリカで、1年に1万頭以上ハンターによって殺されています。この本では、「パパ・テンボ」と呼ばれる一頭の巨大なゾウがターゲットになります。ゾウをにくしみ、ゾウを殺し続けるハンターの名は、ヴァン・デル・ヴェル。一方アリソンという女の子は、なぜかパパ・テンボと心が通じています。大好きなパパ・テンボを救うために、アリソンがヴァン・デル・ヴェルに立ち向かった結果はどうなるか・・・?